

★最新介護医療情報★

「世界年金指数ランキング 2019」が発表される → 日本は 37 カ国中…

(P.K. サンジュン 2019.11.5 参照元: MELBOURNE MERCER GLOBAL PENSION INDEX(PDF))

このご時世、老後の年金に期待している人なんぞそう多くはあるまい。一般的には「若ければ若いほど払い損」が定説となっているし、年金がもらえる年齢も後へ後へとスライドしている。それでも決まりだから払わざるを得ないお金、それが年金だ。2019年10月、その年金についてアメリカの大手コンサルティング会社「マーサー」が『世界年金指数ランキング 2019』を発表した。薄々気付いてはいるが、日本は37カ国中、何位に食い込んでいるのだろうか……？

・世界的に見てどうなのか？

『世界年金指数ランキング』は

「十分性(ADEQUACY)」 「持続性(SUSTAINABILITY)」 「健全性(INTEGRITY)」

の3つを軸に40以上の項目の評価で導き出された、マーサー社の独自のランキングだ。対象となるのは37の国と地域で、AランクからEランクまで格付けされている。国内では「日本の年金制度は破綻している」とお考えの人も多いと思うが、果たして世界基準的に見た場合、日本の年金制度はどんな位置づけなのだろうか？ 1位から最下位まで一気にご覧いただきたい。というわけで、日本はDランクの31位という結果であった。特に低かったのは「持続性(サステナビリティ)」の項目であるから、かみ砕いていうと「現状の年金制度がこのまま続くのか不透明」ということだろう。うむ、悲しいけれど……知ってた。

また、29位の韓国以下が「Dランク」となっていることから「東アジアには年金に問題を抱えている国が多い」と言えるのかもしれない。どこからどう手を付けるべきなのかわからないが、少なくとも現状維持はかなりリスクな選択であるはずだ。こんな世の中だから「払った分より多くくれ」とは言わないが、それでも「払った分は戻してよ」と思うのが一般的な感覚ではなからうか？ 薄々気付いてはいたが、世界的に見てもなかなか厳しい結果となった『世界年金指数ランキング 2019』であった。

3Dプリンターで人工血管 佐賀大が異例の移植へ (共同通信社 2019.11.13 配信)

佐賀大の中山功一(なかやま・こういち)教授(臓器再生医工学)らの研究班は12日、人間の細胞から立体的な構造体を作る「バイオ3Dプリンター」を使ってできた人工血管を、人工透析患者に移植する臨床研究を実施すると発表した。順調に進めば、来年4月ごろに移植を始める。佐賀市内で記者会見した中山教授は、世界的にも珍しく、異例の研究になると説明した。厚生労働省が計画を受理した。透析患者に対しては樹脂などの人工素材でできた血管を移植することがあるが、中山教授によると人工血管は人間の細胞から作るため、アレルギー反応や感染症のリスクが低減する。人工血管は、患者3人の脚の皮膚から採取した細胞で直径約7ミリ、長さ約5センチで作り、それぞれに移植して安全性や効果を調べる。血液透析は、腎不全などの患者の血管から採取した血液を機械に通し、老廃物や不要な水分を取り除いて浄化する治療。血液を取り出す血管は透析を繰り返すうちに細くなったり、詰まったりする恐れがあるが、人工血管を移植すると血流の改善が期待できるという。バイオ3Dプリンターは、患者の皮膚から採取した細胞を培養し、細胞の塊を剣山のように並べた細長い針に刺して積み上げ、血管の3次元データに基づいて形成する。数日間で塊同士が自然にくっつき、針を抜いて完成する。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第67回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒在宅で関わる呼吸器疾患について

開催日: 令和元年12月19日(木)

時間: 午後6時00分~午後7時00分

場所: 東大阪市立東体育館 第三研修室

講師: ルピナス理学療法士 池田遼

第38回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒高齢者の在宅におけるリスク管理

開催日: 令和2年1月24日(金)

時間: 午後6時30分~午後7時30分

場所: 忠岡町文化会館 地下会議室

講師: ルピナス看護師 濱崎容子



第27回城東地域リハビリ勉強会

⇒姿勢とバランスの評価

- 転倒予防の視点を踏まえて

開催日: 令和2年2月21日(金)

時間: 午後6時30分~午後7時30分

場所: 城東区民センター 小会議室2

講師: ルピナス理学療法士 池田遼

